

近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成23年7月13日 14時00分
------	----------------------

件名	国道29号 ^{ひめじきた} 姫路北バイパス 開通3ヶ月後の交通状況及び整備効果 ～交通量が半減、渋滞解消～
----	--

概要	<p>平成23年3月27日（日）に開通した国道29号姫路北バイパス（^{あいの}相野ランプ～^{しもいせ}下伊勢ランプ間）の開通3ヶ月後の交通状況及び整備効果をお知らせします。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姫路北バイパスに交通が転換、国道29号の交通が減少 <ul style="list-style-type: none"> ・国道29号の交通量は約5割（約11,700台）に減少しました。 ・大型車は、約3割（約800台）に減少しました。 2. 国道29号の朝夕ラッシュ時の渋滞が解消 <ul style="list-style-type: none"> ・「石倉交差点」や「山陽姫路西IC東交差点」の渋滞が解消されました。 3. 国道29号の朝夕ラッシュ時の旅行速度が向上 <ul style="list-style-type: none"> ・国道29号の旅行速度が、朝夕ラッシュ時で、毎時23.1キロ向上しました。 4. 救急搬送の時間短縮と走行性の向上により、地域の医療活動に貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送時間が6分短縮しました。 開通前 39分→開通後 33分 </div>
----	--

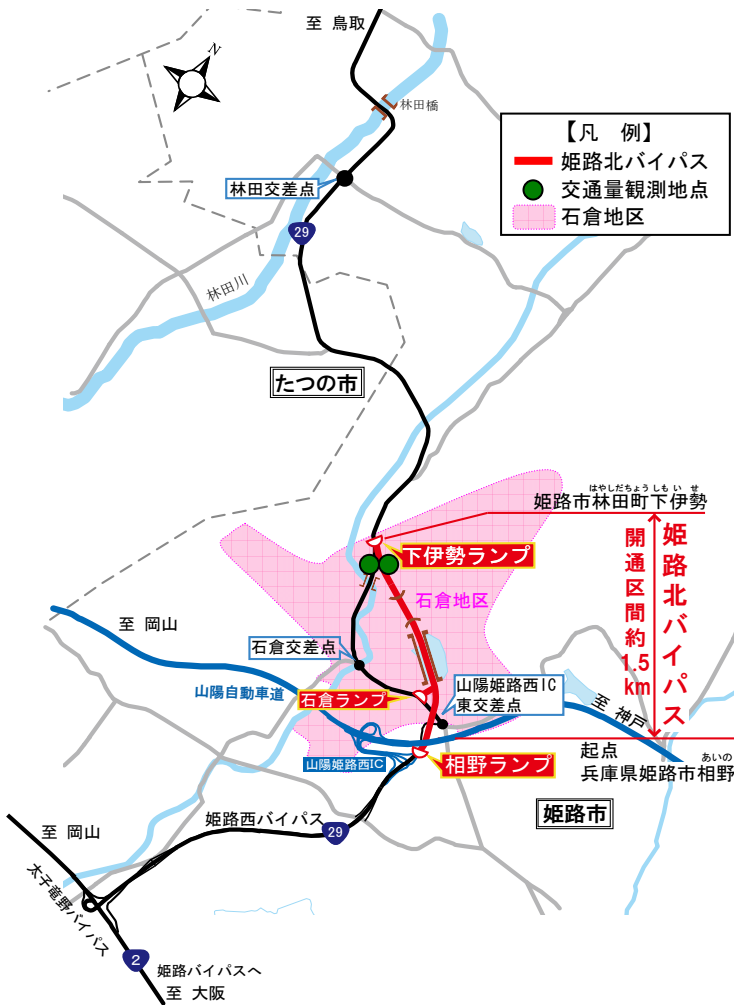
取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 兵庫県政記者クラブ 中播磨県民局庁舎内記者室 北播磨県民局記者クラブ	大手前記者クラブ 神戸市役所市政記者クラブ 東播磨県民局庁舎内記者室 西播磨県民局庁舎内記者室
------	---	--

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 副 所 長 ^{いちい} 一井 博文 TEL 079-282-8211 調査第一課長 田中 孝幸 TEL 079-282-8503
------	--

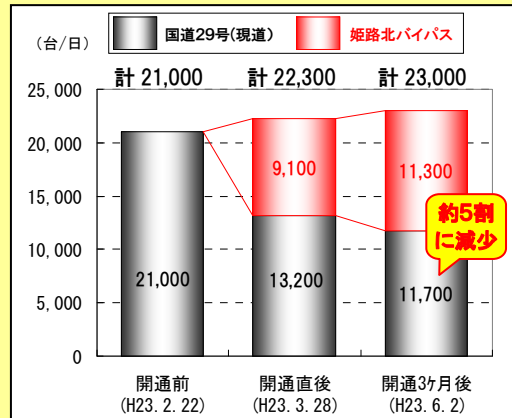
1. 姫路北バイパスに交通が転換、国道29号の交通が減少

- ・姫路北バイパスの開通約3ヶ月で、国道29号の交通量は約5割に減少し、大型車は約3割に大幅減少しました。
- ・国道29号の大型車の交通量減少による騒音の軽減等は地域の生活環境の向上に寄与しています。



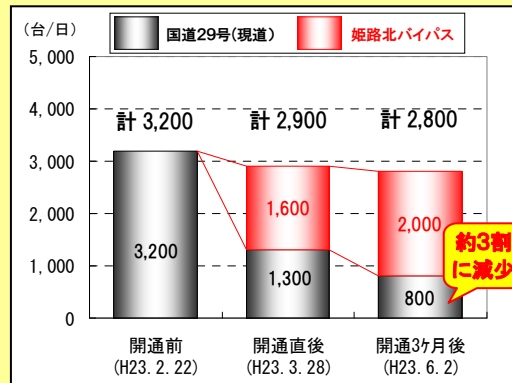
バイパスへの転換台数(全車種類)

国道29号は約5割(11,700台/日)に減少

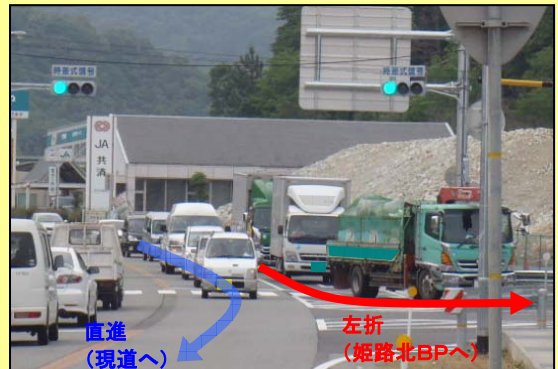


うち大型車の転換台数

大型車は約3割(800台/日)に減少



大型車の利用状況



姫路北バイパスへ向かう大型車 (下伊勢ランプ交差点 H23.6.2 撮影)

※交通量については、姫路河川国道事務所調査結果。



～交通量の減少で生活環境が向上しました。～

太市連合自治会長
石倉自治会長
苦木 隆幸さん

☞ 姫路北バイパスが開通して、周辺を走る現道国道29号の交通量は激減しました。特に、大半の大型車がバイパスへ廻っていることは、今まで夜中に聞こえていた騒音が少なくなったことから感じています。

交通量が減ったことは、騒音を始め、いろんな面で周辺地区へ「生活の安全性」を向上させてくれたと思います。

2. 国道29号の朝夕ラッシュ時の渋滞が解消

姫路北バイパスの開通前の朝夕のラッシュ時に渋滞が発生していた石倉交差点や山陽姫路西IC東交差点では、姫路北バイパスの開通後、渋滞が解消されました。

- ①石倉交差点 開通前 渋滞長 850m → 開通3ヶ月後 0m **渋滞解消**
- ②山陽姫路西IC東交差点 開通前 渋滞長 870m → 開通3ヶ月後 0m **渋滞解消**

①石倉交差点



<凡例>

- 姫路北バイパス
- 国道29号(現道)
- 姫路北BP開通前の渋滞長(18:00時台)
- 抜け道(市道)

渋滞長は、姫路河川国道事務所調査結果による。



②山陽姫路西 IC 東交差点



～渋滞時の抜け道利用車両が無くなり、
子供達にとって安全な道になりました。～

☞国道29号の朝夕の渋滞時間は、地域内の狭い市道を、抜け道利用する車も多く、通学や遊び場に向かう子供達への安全を危惧していましたが、渋滞が無くなり、その心配も少なくなりました。

【姫路市立 太市小学校 平井教頭より】

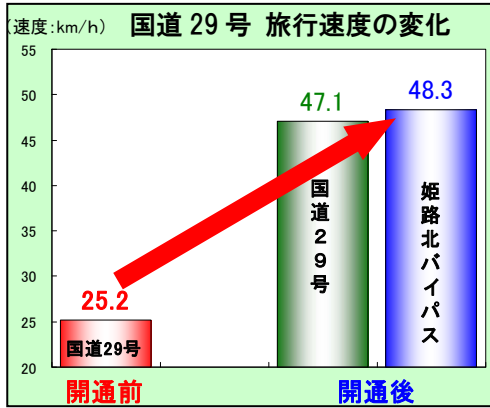


姫路市立太市小学校
(石倉地区を校区とする小学校)

3. 国道 29 号の朝タラッシュ時の旅行速度が向上

姫路北バイパスの開通により、国道29号の渋滞発生区間が解消され、朝夕のラッシュ時の旅行速度が向上し、移動時間が大幅に短縮されました。

・ 国道 29 号 25.2km/h→開通後 48.3km/h 毎時 23.1 キロ 向上



国道 29 号及び姫路北バイパスの旅行速度が、大幅に向上



赤線	0 ~ 20
オレンジ線	20 ~ 40
青線	40 ~
白線	調査対象外

姫路河川国道事務所調べ

民間プローブデータによる平均旅行速度

平日朝夕ラッシュ時 (7:00~10:00:16:00~19:00) における

各路線両方向のうち速度の遅い片側方向を表示

開通前:平成 23 年 1~3月 (3ヶ月間) の平均

開通後:平成 23 年 4月 (1ヶ月間) の平均

～走りやすさから生まれるゆとりで「安全」を実感～



今まで、山崎から姫路に向かうため、国道29号を使っていましたが、交通量が多いことに加え、渋滞する交差点が連続していました。姫路北バイパスは、現道の交差点を通らずに姫路方面へ抜けられることから、10分以上は時間短縮されたと思います。

到着時間に制約を求められる運送ドライバーにとって、時間短縮で生まれるゆとりは、安全運転の面で非常に良くなったと感じます。

【山崎運送株式会社 代表取締役 丸居靖彌氏】

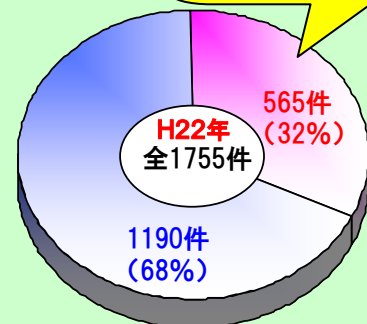
4. 救急搬送の時間短縮と走行性の向上により、地域の医療活動に貢献

姫路北バイパスは、救急時の高次救急医療施設への搬送時間の短縮や、安定した走行性により、カーブ等の揺れが少なく搬送患者への負担を軽減させるなど、地域医療に貢献しています。



宍粟市消防本部救急出場件数
(H22年実績)

救急出場した約3割は、
国道29号を通行



出典：宍粟市消防本部データ
※平成22年救急出場件数：1755件
うち国道29号（相野～下伊勢区間）を利用した件数：565件

救急搬送時間の短縮

6分短縮

開通前 開通後
39分 → 33分

出典：宍粟市消防本部調べ
※宍粟市内現場から姫路市内高次救急医療施設までの搬送時間実績平均（平日夕方ラッシュ時間の比較）
開通前：平成22年1月～平成23年3月
開通後：平成23年4月～5月
※開通後で搬送実績の多い姫路市網干区の高次救急医療施設で比較

～救急搬送による「時間短縮」と「搬送患者への肉体的負担が軽減」～



宍粟市消防本部(宍粟市山崎町)

☞ 宍粟市内には高次医療施設の数が限られている理由から、よく国道29号を利用して姫路市内の施設へ搬送しています。姫路北バイパスの開通により、現道交差点を回避出来るようになり、**救急搬送時間が5～10分は短縮された**と思います。また、**姫路北バイパスは、走行性が良いので、搬送患者の肉体的負担の軽減や車両内での隊員の救急措置を行う上で、非常に大きな効果があります。**

【宍粟市消防本部 救急救助課長 内海一義氏】

国道29号姫路北バイパスの一部開通の概要

1) 開通日

平成23年3月27日(日) 16時 (相野ランプ～下伊勢ランプ間)

2) 事業概要

開通区間: 姫路市相野地先～姫路市林田町下伊勢地先

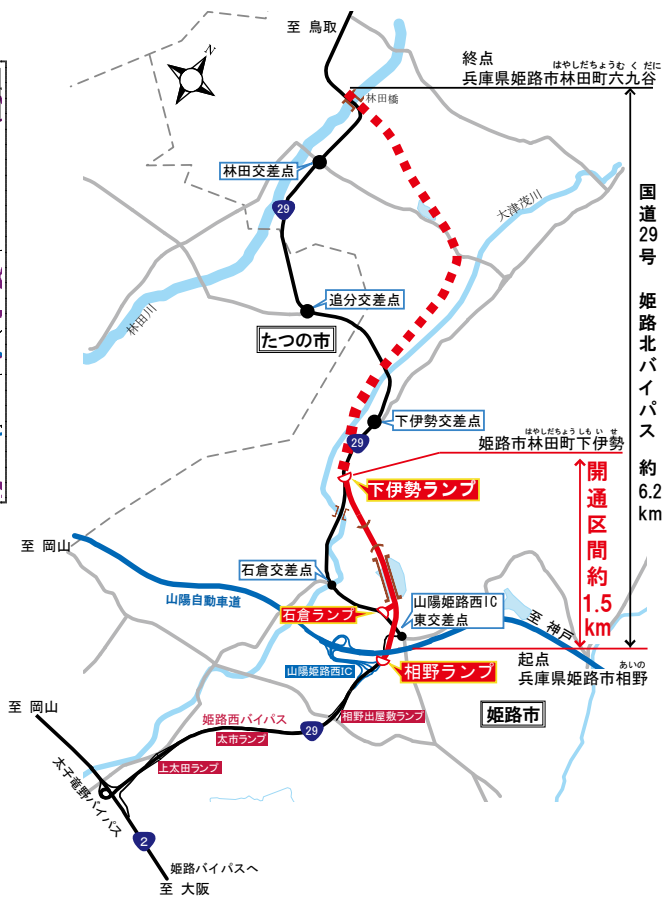
開通延長: 約1.5km

車線数: 暫定2車線(姫路方面行き:1車線、鳥取方面行き:1車線)

接続施設: ①相野ランプ(姫路市相野地先)

②石倉ランプ(姫路市石倉地先)

③下伊勢ランプ(姫路市林田町下伊勢地先)



3) 姫路北バイパス開通の状況 : 平成23年3月27日(日)撮影



峯相大橋から石倉トンネル起点側を望む



石倉トンネル終点側から下伊勢ランプを望む